

行政環境関連施策（第4節）												
一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり												
頁	取組	担当部課	現状と課題等	H18	H19	H20	H21	H22～H25	H18結果	H19結果	進捗状況	達成見通
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス
88	様々なメディアによる情報提供を実施します。	環境保全課	広報、ホームページを活用している。また、必要に応じ報道発表している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	広報、かわら版、ホームページ等で様々な情報を提供	広報、かわら版、ホームページ等で様々な情報を提供	B 計画通り	B 予定通り
88	地域における環境教育を実施します。	環境保全課	17年度より樹木の大気浄化能力チェック調査を市内小学校で開催している。 生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 環境センターの見学を受付している。	樹木の大気浄化能力チェック調査 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 講師派遣、随時実施 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 「出前一聴」等講師派遣 環境センター見学を受付	樹木の大気浄化能力チェック調査 「出前一聴」等講師派遣 環境センター見学を受付	B 計画通り	B 予定通り
89	不法投棄やごみのポイ捨てを発見した場合の通報システムの定着に努めます。	清掃対策課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し、合同パトロールを実施している。 夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
89	監視カメラなどによる不法投棄監視システムの導入を検討します。	清掃対策課	14年度より、警察、県一宮建設事務所及び市関係各課により「不法投棄対策連絡会」を設立し合同パトロールを実施している。 夜間パトロールや郵便局との提携による通報制度により、不法投棄の防止に努めている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	費用対効果の面で、システム導入までに至っていない。	費用対効果の面で、システム導入までに至っていない。	D 不十分	D 1年以上遅れる
89	ごみ袋の有料化について検討します。	清掃対策課	ごみ出しルールの統一に合わせ、指定ごみ袋制を導入	継続実施	統一ルール移行に合わせ指定ごみ袋制の導入を準備	指定ごみ袋制を導入			目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
89	「一宮市空き缶等ごみ散乱防止条例」や「一宮市飼い犬等のふん害の防止に関する条例」の定着を図ります。	清掃対策課	14年4月の条例施行・改正に合わせ、ポスターを各町内に配布し、周知に努めた。 また、啓発看板、啓発のぼり旗を作成し、希望者に配布するなど、10月の一宮市環境月間を中心に啓発している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
90	講演会や市民講座などを開催します。	清掃対策課	生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 環境センターの見学を受付している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「出前一聴」8回 環境センター見学を随時受付	「出前一聴」8回 環境センター見学を随時受付	B 計画通り	B 予定通り
90	あらゆるイベント開催にあたっては、環境に配慮したエコイベントを推進します。	公園緑地課	いちのみやリバーサイドフェスティバル、竹の子掘り、ホテル観賞のタベを開催している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
90	環境情報の収集・発信の拠点を整備します。	施設管理課	エコハウス138に環境学習用のインターネット専用パソコン4台、図書812冊、ビデオ70巻を設置している。 平成20年度よりエコハウス138の運営及び管理を指定管理者へ委託	継続実施	継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	図書追加購入し充実を図った。	図書追加購入し充実を図った。	B 計画通り	B 予定通り
90	広報誌やインターネットなど、多様な媒体による情報提供を推進します。	環境保全課	広報、ホームページを活用している。また、必要に応じ報道発表している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	随時、広報に掲載。また、必要に応じ報道発表を実施した。	随時、広報に掲載。また、必要に応じ報道発表を実施した。	B 計画通り	B 予定通り
		施設管理課	各種講座・教室開催案内の広報掲載及び公共施設にチラシ・ポスターを配布した。 平成20年度よりエコハウス138の運営及び管理を指定管理者へ委託	継続実施	継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
91	小中学校を通した長期的・継続的な環境教育のカリキュラムを作成・実施します。	学校教育課	「平成11年度版 特別活動等指導の手引Ⅱ」をもとに、社会・理科・生活・総合的な学習の時間を中心に環境教育を実施している。 14年度の学習指導要領の改訂、17年度の小学校の教科書改訂に合わせたカリキュラムの改訂をする必要がある。	中学校の教科書改訂に合わせたカリキュラムの改訂 全小中学校における環境教育の実施	全小中学校における環境教育の実施	全小中学校における環境教育の実施	全小中学校における環境教育の実施	全小中学校における環境教育の実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	B 計画通り	B 予定通り
91	河川調査、資源ごみ回収、クリーンアップ、野菜の栽培などの体験型学習の充実を図ります。	学校教育課	総合的な学習の時間を中心に「豊かな心を育てる活動推進事業」との関連を図りながら、全校で地域清掃活動や野菜の栽培（小学校）を実施している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	全小中学校で実施	全小中学校で実施	B 計画通り	B 予定通り
91	「エコスクール運動」を通して、省エネルギー、省資源、ごみの減量に取り組めます。	清掃対策課	15年度より、旧一宮市内の小中学校にて実施。 合併後参加した旧尾西市・旧木曾川町の小中学校にも運動が定着しつつあり、19年度は、参加校のうち61校に認定証を交付し、特に優秀な3校を表彰した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
91	全国展開されている「こどもエコクラブ」に積極的に参加します。	学校教育課	「こどもエコクラブ」への参加を啓発します。	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校の1/3程度の参加	小学校5校、中学校1校、9団体が参加	小学校4校、6団体が参加	B 計画通り	B 予定通り
92	町内における環境美化・環境保全活動の体制づくりを支援します。	環境保全課	県事業の「地域環境保全委員」制度に協力している。	継続実施	継続実施 委員2名減の14名	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施 委員16名在籍	目標通り実施 委員14名在籍	B 計画通り	B 予定通り
		清掃対策課	町内会等による地域清掃の際、ごみ袋などを提供している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	目標通り実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第4節）												
一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり												
頁	取組	担当部課	現状と課題等	H18	H19	H20	H21	H22～H25	H18結果	H19結果	進捗状況	達成見通
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス
93	「エコハウス138」などの環境学習施設における教育・学習内容を広く市民に周知します。	施設管理課	13年度 「エコハウス138」パンフレット 10,000部作成し、随時「エコハウス138」チラシを作成している。 18年5月28日、エコハウス138第2期事業であるビオトープが開園し、パンフレットを8,000部作成した。 平成20年度よりエコハウス138（含ビオトープ園）の運営及び管理を指定管理者へ委託	パンフレット改正予定	環境学習講座、自然観察会の開催	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	ビオトープが開園パンフレットを8,000部作成	環境学習講座の開催 12講座 自然観察会の開催 10回	B 計画通り	B 予定通り
93	環境教育・学習に関するセミナーなどを開催します。	施設管理課	14年度：12講座 14回開催 参加者487人 15年度：13講座 14回開催 参加者469人 16年度：14講座 14回開催 参加者396人 17年度：13講座 13回開催 参加者343人 18年度：12講座 12回開催 参加者330人 19年度：12講座 12回開催 参加者350人	12講座	継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	12講座	12講座	B 計画通り	B 予定通り
93	市内の学校や図書館などの公共施設をネットワーク化し、情報の共有化を図ります。	施設管理課	14年度：小学校 10校 816人 15年度：小学校 8校 649人 16年度：小学校 11校 972人 17年度：小学校 6校 512人 18年度：小学校 9校 796人 19年度：小学校 9校 789人	継続実施	継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	小学校9校 796人の児童が社会見学学習	小学校9校 789人の児童が社会見学学習	B 計画通り	B 予定通り
93	インターネットを通して、環境情報を市民に発信します。	施設管理課	15年度は、ホームページを利用して10回の情報提供を実施 16年度は、ホームページを利用して6回の情報提供を実施 17年度は、ホームページを利用して5回の情報提供を実施 18年度は、ホームページを利用して随時情報提供を実施 19年度は、ホームページを利用して随時情報提供を実施	継続実施	継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	指定管理者において継続実施	市ホームページを利用して随時情報提供をした。	市ホームページを利用して随時情報提供をした。	B 計画通り	B 予定通り
94	小中学校において、環境教育・学習に関する標準的なカリキュラムを見直します。また、環境教育の指導者を育成します。	学校教育課	教科改訂、教育課程の改訂に合わせてカリキュラムの見直しを図る。	中学校におけるカリキュラムの見直し 標準的なカリキュラムの提示 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施 環境教育主任の任命	標準的なカリキュラムの実施 環境教育主任の任命	全小中学校で実施指導者育成については、やや遅れる。	全小中学校で実施指導者育成については、やや遅れる。	B 計画通り	C やや遅れる
		公園緑地課	みどりの少年団育成事業を実施し、学習・野外活動等の緑化活動を通じて人間性豊かな心情を育成する。 19年度にみどりの少年団を1団体増設する。	学習活動 17回 奉仕活動 3回 野外活動 1回	2団体の合計 学習活動 34回 奉仕活動 5回 野外活動 2回 その他 3回	2団体の合計 学習活動 31回 奉仕活動 6回 野外活動 2回	継続実施	継続実施	学習活動 8回 奉仕活動 18回 その他 1回	学習活動 27回 奉仕活動 20回 その他 1回	B 計画通り	B 予定通り
94	市民を対象にしたごみ問題など、身近な環境問題解決のための学習ができるプログラムを作成するとともに、市民の指導者を育成します。さらに、その指導者による市民講座を開催します。	環境保全課	生涯学習出前講座「いちのみや出前一聴」に講師を派遣している。 17年度より樹木の大気浄化能力チェック調査を市内小学校で開催し、その指導者を育成する。	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校にて開催	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校にて開催	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内小学校にて開催	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内小学校にて開催	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内小学校にて開催	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内3小学校にて開催 小学生 44人参加	講師派遣、随時実施 樹木の大気浄化能力チェック調査を市内2小学校にて開催 小学生 29人参加	B 計画通り	B 予定通り
		清掃対策課	廃棄物減量等推進員や環境保全・ごみ減量推進モニターなど各地域における指導者の育成を続けていく。	モニター 20名	モニター 19名 推進員 1,250名 旧木曾川地区での推進員制度の立ち上げ	モニター 19名 推進員 1,594名	継続実施	継続実施	モニター 19名 推進員 1,201名 （旧一宮・尾西地区）	モニター 19名 推進員 1,200名 （旧一宮・尾西地区）	B 計画通り	B 予定通り
94	市民講座などで学んだ市民が、その学んだことを、自分の地域や職場へと伝えていくことができるような、市民が市民を育てる「人材育成の環」を築きます。	環境保全課	講座への講師派遣を実施。また、環境基本計画推進協議会の分科会で「人材育成の環」の構築に向けての取組について議論している。	出前講座への講師派遣、随時実施	出前講座への講師派遣、随時実施	継続実施	継続実施	継続実施	出前講座への講師派遣、随時実施	出前講座への講師派遣、随時実施	B 計画通り	B 予定通り
		清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立 任期は2年で、定員は20名である。 20～21年度は19名により、ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	モニター 20名	モニター 19名 モニター通信の発行と各町内やイベントにて啓発活動を予定	モニター 19名	継続実施	継続実施	モニター 19名 モニター通信を1回発行 各町内やイベントにて啓発活動を実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第4節）												
一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり												
頁 ア	取組 イ	担当部課 ウ	現状と課題等 エ	H18 オ	H19 カ	H20 キ	H21 ク	H22～H25 ケ	H18結果 コ	H19結果 サ	進捗状況 シ	達成見通 ス
95	「一宮市生活排水クリーン推進員」、「環境保全・ごみ減量推進モニター」などの制度によりリーダーを育てます。	環境保全課	3年度より「一宮市生活排水クリーン推進員」制度を設立し、生活排水対策の啓発等を行っている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	推進員打合せ年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会（アクション油が淵）参加	推進員打合せ年2回 消費生活フェア出展 生活排水クリーン推進員研修会（アクション油が淵）参加	B 計画通り	B 予定通り
		清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立 任期は2年で、定員は20名である。 20～21年度は19名により、ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	モニター 20名	モニター 19名 モニター通信の発行と各町内やイベントにて啓発活動を予定	モニター 19名	継続実施	継続実施	モニター19名 モニター通信を1回発行 各町内やイベントにて啓発活動を実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
95	環境活動リーダー養成講座を開催します。	清掃対策課	12年度より「環境保全・ごみ減量推進モニター」制度を設立。 任期は2年で、定員は20名である。 20～21年度は19名により、ごみ減量等に対する自主的な調査・研究に取り組んでいる。	モニター 20名	モニター 19名 モニター通信の発行と各町内やイベントにて啓発活動を予定	モニター 19名	継続実施	継続実施	モニター19名 モニター通信を1回発行 各町内やイベントにて啓発活動を実施	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
96	環境保全に関する取組が報われる仕組みや、その活動に対する支援・優遇措置などを検討します。	環境保全課	環境基本計画推進協議会の分科会で手法について協議している。	手法を協議し、決定しだい、実施予定	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	NPOエコバンクあいちの「地球温暖化防止隊」の活動支援	NPOエコバンクあいちの「地球温暖化防止隊」の活動支援	B 計画通り	B 予定通り
96	いつでも誰でも参加できる組織づくりとして、総合ボランティアセンターを開設します。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 16年7月市民活動支援センターを設立した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援した。	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援した。	B 計画通り	B 予定通り
96	ボランティア登録の手続きの簡素化により、グループや団体を創りやすくします。	地域ふれあい課	一宮市と市民活動団体（市民）が協力し合い、さまざまな分野で活躍する市民活動団体（市民）を支援するとともに、市民活動の活性化と市民の意識啓発を図る。 16年7月市民活動支援センターを設立した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援した。	継続実施し市民活動団体やボランティアを支援した。	B 計画通り	B 予定通り
96	環境監視委員や環境推進委員の仕組みづくりから始めます。	清掃対策課	衛生委員廃止に伴い、「廃棄物減量等推進員」制度を充実させ、地域でのごみ出しルールの徹底、ごみ減量等への率先した取り組みを促している。	推進員 1,000名	推進員 1,250名 旧木曾川地区での推進員制度の立ち上げ	推進員 1,594名	継続実施	継続実施	推進員1,201名 （旧一宮・尾西地区）	推進員1,200名 （旧一宮・尾西地区）	B 計画通り	B 予定通り
96	ボランティア、環境監視員や環境推進員と行政が常に連絡を取り合うように運営します。	清掃対策課	衛生委員廃止に伴い、「廃棄物減量等推進員」制度を充実させ、地域でのごみ出しルールの徹底、ごみ減量等への率先した取り組みを促している。	推進員 1,000名	推進員 1,250名 旧木曾川地区での推進員制度の立ち上げ	推進員 1,594名	継続実施	継続実施	推進員1,201名 （旧一宮・尾西地区）	推進員1,200名 （旧一宮・尾西地区）	B 計画通り	B 予定通り
98	拠点となる施設などをリストアップして、施設の所有者の理解を得ます。	公園緑地課	「私たちの庭の会」の拡張	「私たちの庭の会」の拡張	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「私たちの庭の会」尾西公園支部が結成された。	継続実施	B 計画通り	B 予定通り
98	拠点となる施設の解説書（立て札などを含む。）、ガイドブックの作成を行うボランティアを支援します。	地域ふれあい課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
98	今後の道路改修時には、できる限り環境に配慮した設計にし、車道部との間に緑の壁を作るよう努めます。	道路課	19年度、濃尾大橋線の車道と歩道との間に植樹帯を172.4m整備	新一宮尾西線 L＝380.0m	濃尾大橋線 L＝170.0m			新一宮尾西線 L＝350.0m	新一宮尾西線 L＝380.0m	濃尾大橋線 L＝172.4m	B 計画通り	B 予定通り
98	エコマナーの母体となる市民団体・NPOの設立の後押しを行います。	経済振興課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
98	福祉事業の一部をエコマナーの運用団体にゆだねます。	経済振興課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
99	環境家計簿の表彰制度をもうけるなど、環境家計簿の普及啓発に努めます。	環境保全課	12年度に環境家計簿を全戸配布した。 次年度以後は環境保全課や消費生活フェアなどのイベントで希望者に配布している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	消費生活フェアで希望者に配布	消費生活フェアで希望者に配布	B 計画通り	B 予定通り
99	環境報告書や環境会計の導入を啓発します。	環境保全課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
100	6月の環境月間などに合わせて、グリーン購入のキャンペーンをします。	環境保全課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし

行政環境関連施策（第4節）												
一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり												
頁 ア	取組 イ	担当部課 ウ	現状と課題等 エ	H18 オ	H19 カ	H20 キ	H21 ク	H22～H25 ケ	H18結果 コ	H19結果 サ	進捗状況 シ	達成見通 ス
100	買い物をする時には、進んで環境配慮型商品を購入するようにポスターなどと呼びかけます。	環境保全課	広報やホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	ホームページでグリーン購入に関する情報（グリーン購入ネットワーク）等を紹介した。	ホームページでグリーン購入に関する情報（グリーン購入ネットワーク）等を紹介した。	B 計画通り	B 予定通り
100	主に地元で作られている商品を積極的に市民にPRします。	環境保全課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
100	事業者に対し、意識付けの周知徹底を図ります。	環境保全課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
101	ISO14000シリーズの取得をめざす事業所に対して、行政がサポートできる体制をつくります。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度 17年度から限度額を50万円に変更	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	3件 1,082,000円補助	4件 1,853,000円補助	B 計画通り	B 予定通り
101	事業所の環境活動を支援するため、奨励金制度や表彰制度などを行います。	経済振興課	ISO14000シリーズの認証を取得した企業に対し、その審査にかかる経費を補助する。 補助対象経費の1/2の95% 95万円を限度 17年度から限度額を50万円に変更	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	3件 1,082,000円補助	4件 1,853,000円補助	B 計画通り	B 予定通り
101	大企業には、ISO14000シリーズの取得を働きかけます。	経済振興課	機会をとらえて、ISO14000シリーズの取得に向け啓発を図る。	継続実施	機会をとらえて啓発を図る。	継続実施	継続実施	継続実施	機会なく、啓発実績なし 中小企業に対して3件 1,082,000円	機会なく、啓発実績なし 中小企業に対して4件 1,853,000円	B 計画通り	B 予定通り
101	個人商店から中小企業まで、過度の負担なく参加できる市独自の環境活動基準をつくります。	清掃対策課	該当事業なし								E 該当事業なし	E 該当事業なし
102	農地を保全・活用する土地利用調整システムを検討します。	農業振興課	19年度利用権設定件数 貸し手 2人、借り手 2人、土地 5筆 2,957㎡ 19年度末現在 貸し手 124人、借り手 36人、土地 329筆 197,008㎡ 生産緑地制度により市街化区域農地を保全する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	利用権設定件数 貸し手6人 借り手2人 18年度末 貸し手125人 借り手43人	利用権設定件数 貸し手2人 借り手2人 19年度末 貸し手124人 借り手36人	B 計画通り	B 予定通り
102	生ごみの堆肥化及びその普及に努めます。	清掃対策課	16年度より生ごみを分別収集・乾燥処理し、堆肥の原料とする資源化事業を試験的に実施中	今伊勢町 木曽川町 680世帯 試験導入	今伊勢町 木曽川町 660世帯 試験導入	継続実施	継続実施	継続実施	今伊勢町・木曽川町の660世帯で実施中	目標通り実施	B 計画通り	B 予定通り
		農業振興課	19年度市内公共施設と一部町内会、マンション及び一宮女子短期大学の協力を得て、112,981ℓの生ごみから21,830ℓの堆肥を製造した。 引き続き、よい堆肥ができるように努めるように努めるとともに、啓発にも力を入れていく。	協力区域を一宮女子短期大学にも拡大する。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	協力マンションから1,180ℓの高速1次処理物を回収。 全体では、109,459ℓの生ごみから、18,150ℓの堆肥を製造	協力マンションから1,880ℓの高速1次処理物を回収。 全体では、112,981ℓの生ごみから、21,830ℓの堆肥を製造	B 計画通り	B 予定通り
102	病害虫防除技術を普及し、減農薬農業への移行を図ります。	農業振興課	減農薬、減化学肥料をめざす農業者を県が審査し「エコファーマー」として認定する。19年度末で112人が認定を受けている。 化学農薬のかわりに生物天敵を使う試験を継続して行っているが、簡単に広がっていく消毒法ではないので、地道に取り組んでいかななくてはならない。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「エコファーマー」として113名が認定を受けている。 生物天敵も一部で実際に利用した。	「エコファーマー」として112名が認定を受けている。 生物天敵も一部で実際に利用した。	B 計画通り	B 予定通り
102	有機・減農薬の地場農産物に対する認証制度を検討します。	農業振興課	水田農業の生産調整への取組の中で、特別栽培農産物への助成を行う。 16年度から面積要件を追加した。特別栽培農産物の差別化を図る。 特別栽培米の耕作面積は増えつつある。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市内29ヶ所の水田192,226㎡で特別栽培米を作り、減農薬・減化学肥料に努めた。	市内25ヶ所の水田182,004㎡で特別栽培米を作り、減農薬・減化学肥料に努めた。	B 計画通り	B 予定通り
103	「エコアクションー宮」の取組を広く周知します。	環境保全課	毎年度「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表している。 それ以外の省エネ情報についてはホームページで紹介している。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表した。	「温室効果ガス排出結果」等各種取組を広報掲載、報道発表した。	B 計画通り	B 予定通り
103	「エコアクションー宮」を市民、事業者が取り組めるような計画として、普及啓発を図ります。	環境保全課	「エコアクションー宮」は行政の率先行動計画として実施している。	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行っている。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行っている。	市広報、ホームページ等で市民、事業者に対して、地球温暖化対策などの啓発を行っている。	B 計画通り	B 予定通り

行政環境関連施策（第4節）												
一人ひとりが積極的に参加する自立と協働のまちづくり												
頁	取組	担当部課	現状と課題等	H18	H19	H20	H21	H22～H25	H18結果	H19結果	進捗状況	達成見通
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス
103	平成17年度の結果を踏まえ、計画の見直しを行います。	環境保全課	17年4月1日に一宮市、尾西市及び木曽川町の2市1町が合併し、対象施設が増えたことなどにより、17年度を基準年度にした実行計画に見直した。	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	18年4月に見直した実行計画「エコアクションー宮」を策定した。	18年4月に見直した実行計画「エコアクションー宮」の継続実施	B 計画通り	B 予定通り